



世界へのプレゼントになろう



守口ロータリークラブ 週報 No. 36

母子の健康月間



守口RC・守口ERC・合同ゴルフコンペ、初参加で3位を獲得！
佃 会員

2015-16・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1、太陽がいっぱい 2、ダニーボーイ 3、いとしのエリー

本日例会 2016年04月20日(水)
(第2668回)

「アジアの国々に緑の恩返し」
第16回海外植林事業報告
松尾 安彦 会員
担当：職業奉仕委員会

次回例会 2016年04月27日(水)
(第2669回)

「守口市の市政運営について」
守口市 市長 西端 勝樹 様
担当：出席・プログラム委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
04月13日	25 (内免除者2名)	15	62.50%【会員41名】
03月26日	25 (内免除者0名)	メークアップ4名	(60.98%)



前回例会 (2667回) 04/13の主な内容



◆◆◆委員会報告◆◆◆

クラブ研修委員会 (佐治委員長)

○4月9日地区協議会にて開催されました
研修委員会の報告

○フレッシュロータリアンフォーラム
(FRF) のご案内

日時：6月17日 (金) 18:00～19:30・・・第一部フォーラム
19:30～21:30・・・第二部懇親会



◎ 幹事報告 (他谷副幹事)

1、新・旧クラブ協議会ご案内

日時：4月20日 (水) 13:40～

場所：3F「飛鳥」

「当日は、岩本ガバナー補佐

富永ガバナー補佐エレクトが出席されます」

2、東大阪みどりRCより「ロータリーの歴史に

学ぶ」の冊子のご案内が届いています。

申込みされます方は、事務局まで。



◎他谷会員よりご尊父様ご逝去に際しましての
ご会葬のお礼

■ 会 長：川 村 弘 和
■ 幹 事：廣 瀬 彰 久
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

◎会長の時間 (会長 川村 弘和)



昨日、守ロイブニングRCとの合同ゴルフコンペに参加いたしました。当クラブからは、残念なことに3名だけの参加となりました。イブニングRCが17名で5組のコンペでした。成績は、初参加の佃会員が3位になりました(拍手)。

名水百選(兵庫一2)

兵庫2つ目は「布引溪流」です。六甲山に源を発し、神戸市の中央部を流れる生田川の一部であり、古来より和歌等に多く詠まれた、布引の滝及び溪流を堰き止めて設けられた布引貯水池等の水資源が存在する。

雄滝、夫婦滝、鼓滝、雌滝という美しい滝からなる布引の滝は、三大神滝と呼ばれ、古来より和歌等に多く詠まれ、竜宮城、龍神にまつわる神秘的な言い伝えも残されている。

平安の昔から景勝地として多くの人が訪れている様子が書物にも描かれている。布引貯水池貯水量約33万m3の水は、神戸市の貴重な自己水源として、明治33年に誕生した。

溪流の水は「腐らないおいしい水」と船乗りの間で評判となった「コウバウォーター」としても有名。

(利用状況)

直接湧き水を汲む場所はない。

布引の滝から市が原周辺は市民のリクリエーションの場として多くの人に親しまれている。

(アクセス)

JR「三ノ宮駅」下車 市営地下鉄「新神戸駅」下車して徒歩10分「布引の滝」、さらに徒歩20分「布引貯水池」、さらに徒歩15分「市ヶ原」。

今日の一句

競馬とかけて初めて携帯電話を買う中高生と解く
その心は～
「騎手(機種)」が気になります。

ニコニコBOX S・A・A

- 他谷 会員 先週、父の通夜・告別式にお越しくさしました皆様、また心の中で父に手を合わせてくださいました皆様、有難うございました。
- 石井 会員 昨日は私の本当の誕生日、お蔭様で満93歳となりました。
- 博多 会員 大野さんにお願ひ事があって。
- 佐治 会員 例会欠席のお詫び。

4/13 ニコニコBOX 989,000円

卓 話

他谷 勝会員



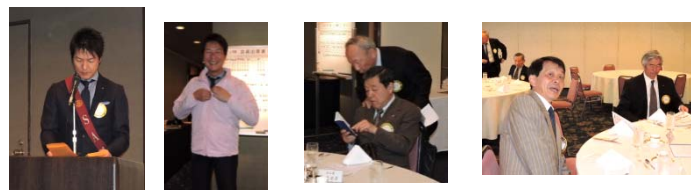
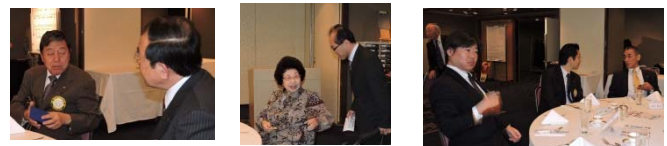
「週報を振り返る」

2005年7月、当時の田代精作広報雑誌会報委員長、事務局小原さん、仮称X氏を中心とした方々のご尽力で週報の内製が開始されということです(2006-2007年度No.35卓話「週報つくりで学んだこと」)。

現在のスタイルの週報開始から当初3年間に掲載された「会長の時間」の中から、各年度5回分を選び、朗読しました。そのうちの各年度1回分を次に掲載します。

最後に、当時の疋田副会長のお話しの触り部分を、掲載された田代元委員長のご英断に敬意を表しつつ、朗読しました。その一部を掲載します。

(～次ページに続く～)



卓 話

(～前ページからの続き～)

2005～2006

当時の三浦俊造会長

No.39



普通「いい加減」とは、チャランポランとか“ええ加減にせえ”とか言う様に、余り良い意味にはとられておりません。五木寛之氏の云う「いい加減」とは、元々は両極端の真中にあたり「暑くもなく寒くもなく」「甘くもなく辛くもなく」丁度中間あたりの程々の良さを示す言葉だそうです。だから“この世で生きるにはこういう気持ちで生きたらよろしいのでは”といていた様な記憶があります。

また別の人は「健康とか長生きの秘訣は正直に生きないこと、正直と嘘の真中をうまく泳ぐことだ。」とも言っていました。言葉には、人生と社会の現実から生じた“諺”的な要素が多分に含まれているものです。

私も「いい加減にせんか」といわれる前に“ほど良い加減”で会長職を全うしてまいりたいと願っております。

このほか、No.11、No.21、No.37、No.45を朗読。

2006～2007

当時の石井賢治会長

No.6

「運のいい人になる」



お盆が近づいて来ましたので、少し運命論的なお話をしたと思います。

皆様は自分が“運のいい”人物だと思われませんか、それとも“運の悪い”人生を歩んでいると思われませんか。あの有名な故松下幸之助氏は社員を採用する際、その人物が“愛嬌のある人物”である事と“運のいい人物”である事に注目したそうです。

先ず前者の方は第一印象でなんとなく掴む事が出来ますが、後者の方が如何にして見極めるのでしょうか。松下さんによると“運がいい人物か否かは本人に聞けば分かる”とのことです。さてあなたはどちらでしょうか。

どんな人でも生涯には辛い事が沢山あります。辛い事の方が印象に残り易いのです。誰でも“成功している人が羨ましい”と思っているでしょう。

然し辛い事の方が目につき易い人生に於いて、あえて幸福に目を向ける事ができたなら、一寸違った場面が出てくるでしょう。

“粗食だが今日もおいしく食事が出来た”

“高級車には乗れないが、事故もなく外出できた”

・・・日常生活を顧みれば些細な事でも運がいいと感じられる事が沢山あります。不快な場面でも考え方や行動を積極的なものにすれば不快な事も自ずと有難いものを感じられてきます。

“自分は運がいいのだ！”と何事もプラス思考で生きて行けば、身の周りに幸運や幸福を招き寄せる事ができるのです。

このほか、No.1、No.5、No.19、No.45を朗読。

2007～2008

当時の佐治信隆会長

No.17「喫茶去」（きっさこ）



日頃喫茶店に入って一服されて一息つかれますが、この喫茶という言葉は禅の文言の喫茶去が出所です。「茶を飲みなさい」と言うことです。もうちょっと言えば「茶を飲んで出直して来い」と禅では説きます。この文字は床の間に掛かっているときがあります。又、お茶室なんかに掛けてあるときもあります。

言葉そのものの意味は構えて格式張ってばかりのお茶をしなくていいんだ、お茶室のお茶も良いが、日常生活の中でお茶を飲むならひたすら飲むことに専念してお茶と自分が一つになる、お茶以外にこころを散らさない。

食事をするときも洗濯をするときも掃除をするときも読書をするときもそうなんです。そのことといつも向き合っただけです。それが修行なんだと禅師は説きます。

「喫茶去」の公案（弟子を指導するときの前例や模範や指針となるもの）に天皇と龍潭（りゅうたん）の師弟関係の問答があります。

龍潭「師のもとにきて一度も心の修行について教えを受けたことがありません、どうか今日は教えてくださいませ」

天皇「そうかな、私はいつもいかに心の修行をするべきか教えてきたつもりだが」

龍潭「どんなふうですか」

天皇「きみが茶を持ってくれば、私はそれを飲み、食事を持ってくればそれを頂いているではないか。きみが挨拶をすれば、私は返礼しているではないか。これでもきみは何も教えていないというのか、ものごとに出会ったならばたちどころにそれを見なさい。見るのであって、それについて考えようとしてはなりません。考えたらそのときに、それはきみのまえから消えてしまうでしょう」。

禅ではこれを不立文字（ふりゅうもんじ）といいます。

このほか、No.2、No.4、No.10、No.38を朗読。

(終わりに)

2005～2006

No.2 当時の疋田副会長

いつからか、月に1回副会長の時間が設けられ、恒例になりました今年も喋るようにと命ぜられました。月1回お耳をけがしますがよろしくお願い申し上げます。

いよいよ三浦丸の出航と言うことで、何かめでたい話を。

中国の笑話集から、昔、結婚する二人が事前に見合いの機会すら与えられず、写真などももちろん無く、お互いに顔すら知らなかったと言う時代。

.....

(この続きは、ホームページまたは事務局のファイルで、お楽しみ下さい／広報委員会)。